

言葉の力

塩本仁美 歯科医師

ご講義を通じて、言葉の持つ力の大きさ、デイサービスでご老人を支援しながら共に生きることの尊さ、そして介護保険制度の枠組みの中で理念を突き進む難しさを深く理解することができました。

私は歯科医院で勤務しておりますが、患者さんとして介護職に従事されている方々と接する機会が多くあります。中にはご老人に対する愚痴をこぼす方や、「できることはしてあげたい」という思いを語られる方もいらっしゃいます。後者の方のお話を伺うと、私自身も前向きな気持ちになれますが、愚痴をこぼす方が多い印象を受けておりました。その背景には、激務や多くのご老人を1人で支える日々の大変さがあるのだらうと感じておりました。そして、私自身も年老いたらなるべく自宅で独居したいと考えていたところです。

しかし、先生のご講義を拝聴し、言葉の力の大切さを改めて認識いたしました。

職場の人間関係が日々の仕事に与える影響は大きく、愚痴を多く言う職場ではそれが日常の言葉となり、逆にできることを語り合う職場では前向きな言葉が支えとなるのだと気づきました。

このような職場環境の違いが、介護における支援の質や働く人々の気持ちにも大きく影響するのだと理解いたしました。

先生のお話から、多くの示唆をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今後も学びを深め、私自身の実践に活かしてまいりたいと存じます。

末筆ながら、先生の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。